

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ 京都版 No.170

Asia-Africa-Latin America(AALA) 2019年1月1日

京都府アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

連絡先 〒606-0033 京都市左京区岩倉南四ノ坪町4-4 辻崎忠由方 電話/FAX 075-722-7888
tjsktdys.willbe.w11@gmail.com 年会費(6,600円)は郵便振替 00970-4-223429 京都府 AALA 連帯委員会へ
ホームページ新版 <http://kyoto-aala.com/> (旧版へのリンクあります)

今年こそ、国民の総力で安倍政権を退陣へ!!

2019年が明けました。会員の皆様、お正月は如何お過ごしでしょうか？
今年も宜しく願い申し上げます。

昨年も国内外共に、激動の1年でした。一番の要因は超大国アメリカに誕生したドナルド・トランプ大統領によるところが大きいと、思います。「アメリカン・ファースト」(米国第一主義)を掲げ、事の是非は別にして、世界を揺り動かした張本人と言えるでしょう。

アジアでは、朝鮮半島のドラマチックな激動がありました。直前まで、核実験、弾道ミサイルの発射実験を繰り返し、米国を挑発していた北朝鮮と韓国の首脳会談が4月、5月、そして9月の3回に渡って行われました。また、6月12日には戦後、初めての米朝首脳会談が行われ、「北朝鮮の非核化(北朝鮮側から言えば、「朝鮮半島の非核化」)」、「北朝鮮の体制保障」、「停戦協定の締結」など、諸問題の解決に向けた話し合いが行われました。



戦後初の米朝首脳会談

日本では、県知事選で示された県民の意志すらどこ吹く風とばかりに、辺野古新基地建設地に土砂投入の力づくの強行、閣議決定された防衛大綱(中期防)では新たにF35戦闘機(F35Bステルス(敵のレーザーに察知されない)戦闘機42機を含む)105機の大量購入(既購入分 F35A42機を合わせれば計147機の保有)、その上当該戦闘機を艦載出来る艦船が必要などとして、海上自衛隊保有の護衛艦「いずも」を改修して空母

化するとしています。購入価格は関連装備を含めば1機200億円超で、しかも平均稼働率50%という欠陥戦闘機です。代金支払いは後年度負担というツケ払いで、その一部は今年10月に予定されている消費税増税分(2%上げて10%)で支払われる、と思われまふ。ここまで来れば「専守防衛」どころか、敵地攻撃も辞さない軍事大国化の道へと突き進む、日米の貿易赤字解消を口実にしたトランプ政権の意のままに動く安倍政権の暴走も極まれりでしょう。

また、対中貿易戦争を仕掛けたトランプ政権ですが、双方が関税引き上げの応酬をした後は、昨年12月開催のG20首脳会議後の米中首脳会談で、一時停戦で合意するも、中国の経済圏構想「一帯一路」については全面的に批判しています。陸と海の新シルクロード経済圏構想である「一帯一路」は提唱されて5年が経過、今や建設協力協定の調印国は140カ国以上と言われ、中南米諸国を初め、太平洋の島しょ国、アフリカ諸国まで広がっています。中国から欧州までを交通網、通信網、エネルギー供給網で結び、貿易や投資を拡大させて、協力関係を築くというふれこみが、シルクロードの



米中首脳会談

沿線を超え、範囲が世界規模に及ぶ巨大構想化になっています。アフリカ・中近東ではシリアから米軍地上部隊を撤退させる、とトランプ大統領が表明。しかし、今後のシリア紛争の収束に向けた政治的、外交的な道筋をどうつけるのか、トランプ政権は明確な戦略を示すことが出来ません。これを受け、アサド政権を支持するロ・プーチン大統領は歓迎するも、状況が好転するか否か不透明です。一方イエメンでは西部の要衝で、停戦合意に至るも依然、混迷は継続しています。また昨年11月、パレスチナガザ地区でイスラエル軍とハマスが相互に相手を攻撃、市民を巻き込む戦闘になりました。イスラエル軍の特殊作戦(イスラエル軍部隊によって、ハマスの地区司令官が殺害された)が背景にあるようで、国連特使は自制を求めました。同時に昨年11月は、英国がパレスチナの地にユダヤ人の「民族的郷土」をつくると約束した「バルフォア宣言」から101年となり、アラブ連盟やパレスチナ民族評議会が英国に対し、「歴史的犯罪を正してパレスチナ国家の承認を」と訴えました。「バルフォア宣言」とは、第一次世界大戦中の1917年11月2日英国のバルフォア外相が戦費調達を目的に、同国のユダヤ系貴族院議員ロスチャイルド氏に送った書簡で表明。パレスチナにユダヤ人国家を建設する「シオニズム運動」を支持する内容です。一方で英国は15年、メッカの太守フセインに、オスマン帝国への反乱の見返りとしてパレスチナを含むアラブ国家樹立を約束。イスラエル・パレスチナ紛争の歴史的要因となったものです。



ロペス・オブラドール新大統領

ラテンアメリカでは、メキシコで、新興左派政党・国民再生運動のアンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール新大統領が昨年12月就任しました。汚職や治安悪化が続く中で、変革を求める国民の期待は強く、早速今年1月1日から最賃を16.2%引き上げると発表。6年間の任期中に約2倍にする目標を掲げている。今回の措置は政府・労働者・経営者全会一致の合意によるもので、新政権は今後、国民生活向上のための予算増を図るとともに、財政規律を守り、インフレ抑制にも取り組む

姿勢を明確にしています。外交面での手腕も期待されますが、特に対トランプ政権への対応が注目されます。



支持者に訴えるボルソナロ下院議

た。民政に復帰して33年、憲法制定から30年。ブラジルの民主主義が今、正念場を迎えようとしています。

一方、ブラジルに昨年10月、大統領選決選投票で社会自由党の軍出身の極右政治家ジャイル・ボルソナロ議員(「ブラジルのトランプ」と呼ばれている)が左派・労働党のフェルナンド・アダジ元サンパウロ市長に競り勝ち、新大統領に当選しました。選挙戦は2014年に発覚した大規模な汚職事件の捜査が継続する中で施行され、労働党を含め、主要政党の幹部が汚職疑惑に塗れるもとの、ボルソナロ氏の汚職撲滅の訴えが浸透した模様で、悪化する治安問題に対しても、その対策として軍の活用拡大や銃所持規制の緩和などの強硬策を主張しました。

会員の皆様のご協力をお願い致します

京都 AALA は昨年6月、第41回定期総会を開催、2018年度の活動方針を決定しました。現在、**組織拡大(会員拡大)**と**国際署名**(「戦争するな!どの国も」)を重点的に取り組んでいます。会員拡大は運営委員会を中心に取り組んでいます。会員の皆様のお友達、お知り合いの方々にもお声をかけ、AALAの魅力を語り、お誘いして頂きますよう、また国際署名も第5次の取り組みとして引き続き集めていますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

物品販売のご案内

オスパールコーヒーとチョコレートのご紹介です。

◆(株)オスパールコーヒーは1979年、ニカラグアのサンディニスタ民族解放戦線(FSLN)という革新政権を支援するため、日本 AALA が設立しました。

オスパール(OSPAAAL)とは、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの3大陸の人民との連帯を願って付けられました。ニカラグアでは少量しか採れませんが、優れた味の「幻の豆」マラゴシペを輸入、革新政権の発展を願って40年間、日本の人々に紹介して来ました。オスパールコーヒーは、安全な豆を浅煎りすることで、豆本来の味を引き出します。世界の国々、そこに住む人々の平和と連帯を思いながら、くつろぎの一杯をどうぞ!

なお、現在事務局にありますコーヒー豆はタンザニア産の「キリマンジャロ(200g)2袋のみです。定価940円のところ、**特別価格800円で販売**致します。「マラゴシペ」等は販売済みにつき、悪しからず、ご了承ください。

◆ベネズエラチョコレート

子供たちから大人まで世界中の人々から愛されるチョコレート。原料のカカオ豆はカカオノキ

の実であるカカオの種で、今や世界経済にも大きな位置を占める重要な作物の一つです。ベネズエラチョコレートは、「アパマテ」(カカオ含有量73.5%)と「カオバ」(カカオ含有量41%)の2種類で、「アパマテ」は苦みと酸味のバランスが良い、コクのあるダークチョコレート、「カオバ」はカカオ41%でありながら、バランスよく、力強いミルクチョコレートの2種類です。各1袋400円での販売です。なお、カカオは一定以上の含有量があれば、体にも良いそうです。

お問合せ・お申込みは事務局/辻崎(携帯:090-1917-0193 又はEメール)まで。

イベント等のご案内

その1

今年も新年にふさわしい、アジア各国の人々との平和と友好の架け橋「**2019春節のつどい**」が下記の通り、開催されます。昨年以上の各団体からの出し物、各国の料理・飲み物の持込み、そして何よりも春節を祝う出身国(中国(台湾を含む)、韓国、北朝鮮、ベトナム、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ブルネイ、モンゴル)の方々、主催各団体関係者の多くのご参加をお待ちしています。このつどいは例年、春節(旧暦の1月1日・・・昨年は2月16日、今年は2月5日)に日中友好協会京都府連合会を始め、平和友好団体(日朝協会京都府連、日ベト友好協会京都支部、京都府 AALA 連帯委員会)が主催する催しです。会員の皆さんの参加をお待ちしています。

- 開催日時 2月9日(土)予定 午後2時開会 5時閉会予定。
- 会場 京都ガーデンホテル1階 レストラン「彩宴」(中京区室町御池南入る西側)
☎075-221-2725
- 内容 春節を祝う会
各団体・個人の出し物など。 ※各国の飲み物、料理の持込み大歓迎。
- 費用 2,500円

その2

今年2月、又は3月に「公開講演会」を予定しております。

昨年の朝鮮半島情勢の劇的な変化を受けて、今年1月又は2月中に2回目の米朝首脳会談の開催を表明した米・トランプ大統領。米朝間の懸案事項が解決へ向かうには、未だ一定の時間が必要だと思えます。

今後の南北関係はどう展開するのか？核問題はどうか？中国の思惑は？等々、波乱含みの展開が予想されます。今後の朝鮮半島情勢について、朝鮮問題の専門家を招き、お話しして頂きます。

現在、講師予定の方に照会中です。決定次第、ご案内致しますのでご期待ください。